

1月16日 **国際紛争やコロナ・政治等様々な人権にかかわる諸問題**

1月23日 **西宮市尼崎市を中心とする阪神地域の社会的課題**

**気づいたこと・考えたこと** 講師 神戸新聞経営企画局教育事業戦略室 三好 正文 様

神戸新聞記者 中川 恵 様 をお招きして

4組

新聞を自ら読もうとしたことはあまり今までなかったが、今、この世界や日本で何が起きているのか、それには、どんな意味があり、どういう意見があるのかなど、1つの記事全体を自分の考えとともに、深めることがとても大切なんだと気づかされた。自分が今後生きていくこの世の中の出来事をもっと知るためにも、新聞を定期的に読んでみようと考えた。

興味を持った記事について、なぜ興味を持ったのかを考えると、問いが自然に生まれてきたので、もっと調べたくなりました。新聞の読み方が分からない部分があったのが心残りでした。ネットで記事を読むことも良いことだと思うけれど、新聞で手に触れて読むこと、新聞を読むおもしろさも分かりました。

6組

「個人的なことは社会的なこと」という言葉にとっても共感しました。自分が困っていることは他の人も困っていると思うし、自分だけの問題と思わないようにすることが大切だと思った。

新聞は普段あまり読まないけれど、ネットニュースでは興味のある話題に偏ってしまったり、フェイクニュースがあったりする可能性があるのも、今後は新聞も読んでみたいです。

私は生まれてからずっと西宮にいたので、詳しいつもりでいましたが、自分が全く知らなかったことを知る機会となりました。「プレハブの仮設校舎を使って暮らした中学生の時期 校舎のパンクをなくすには？」上記にもある通り、自分の通っていた学校が新聞記事になるほどの課題を抱えていたなんて考えたこともありませんでした。新聞を読むことも大切だと思いますが、自分が住む地域に関心を持つことも大切なんだと考えました。

5組

自分の興味がある分野としっかり向き合えば、おのずといい問いにめぐり合えるのだと思いました。これから活動していく上で、今回の講演で教えていただいたことを活かし、自分の為になるようなものにしていきたいです。

物事に対して「なぜ？」という問いを立てることは、とてもハードルが高いことだと思っていたけれど、講演を聞いてハードルが少し低くなった気がします。

「私の知っていること」今の世の中についていけないことがよくわかりました。毎日ニュースを見るということはとても大事なんだと思いました。今の世の中には解決すべき問題が大量にあるのだと感じました。

同じ資料を持っていても人それぞれ興味を持つものは全然違うのだと気づきました。また、新聞などは、見出しやタイトルで、閲覧者に興味を持ってもらえるか否かが決まるので、見出しやタイトルのつけ方が重要だと感じました。

いつも、ネットニュースでしか情報を得ていないけれど、うその記事で踊らされたり、見出しだけ見て内容を勘違いしたりすることがあるので、時間がある時は新聞記事を見てみようと思った。

地元紙には、自分の住んでいる地域の問題点が載っているため、毎朝読んで問題を知り、解決すべき方策を1人1人が意識するようになれば、より良い町づくり可能になると思った。

ラジオやテレビで見るニュースよりも、新聞というのは『読む』から分かりやすいということに気づいた。

自分が困っていることは、他の誰かが困っていることであるという言葉が、印象に残りました。困っていることがあるとどうしても視野が狭くなってしまいますが、そんなときこそ周りをよく見て答えを見つけることが大切だと思いました。そして、課題研究をしていく中でも視野を広げて周りを見る力が必要だと思うので、探究をしていく中でその力を養っていきたいと思います。

県内で行われている様々なことに注目している記者さんはすごいとおもいました。

「個人的なことは社会的なこと」と聞き、どんな小さな些細なことでも気になったことは調べてみるのが大事なんだと知りました。調べるときも、地元のことが知りたいのかそうじゃないのか、新聞を調べる方法でも、どこの新聞がいいのか等、新聞に限らず資料を集める方法には特に注意を払いたい。

自分の困り事は他の人や社会の困り事であるかもしれないと思うと、社会の問題も身近なものだと捉えられて、社会の出来事に興味を持ち、よりしっかりとそのことについて考えることができるようになった。そして、問いを立て、それについて調べることで、また新しい問いが生まれてくるという話しを聞き、問いを立てることで、いろいろなことに興味を持つきっかけになるかもしれないと思いました。

1つの記事から得る情報だけでなく、自分が普段の生活で得る情報も合わせて探究的な活動を行うことで、内容も深まりよりよくなると感じました。

自分たちの日々の生活にはたくさんの疑問があることに気づいた。今後は、日々の生活の疑問を大切にしていきたい。

まずは、自分の興味を持った資料を選ぶことによって、他の人と話すときに、その人の考え方や価値観の違い等がよく表れ、改めていろいろな見方があることに気づいた。

## 7組

自分で問いを立てると、同じような聞き方しかできないが、友達との意見共有で、質問の仕方も視野も広がりそうだ。

ヤングケアラーについては、いろいろと問題になっていることは知っていた。ヤングケアラーを減らすためには、もっともっと支援が必要ではないかと思います。

問いを立てることは、高校や大学だけじゃなく、社会でも重要なことだと知りました。『問い』を突き詰めることが探究であることも知りました。

小さなことでも『問い』を見つけることが大切だと感じました。

あんなにも膨大な量の新聞記事を、毎日発行しているのは素晴らしいと思った。

自分の住んでいる地域には、まだまだたくさんの課題があることを知りました。

新聞の一面の記事からいろいろなことが分かり、構成上の掲載の仕方も工夫されていて、何も考えずに読んでいた新聞を、これからはそれらの工夫を組み取って読んでいこうと思います。

自分の住む町のことで、よく見れば様々な問題があり、誰かが解決しようと努力しているんだなと気づきました。私も、その問題に自分で気づけるようになりたいと思いました。

自分の思っている1つの小さな疑問を、小さなままにせず、視野を広げて、大きな疑問になるようにすることも大事なのかなと思った。

自分が気づいていないだけで、身の回りにはたくさんの問題があるんだと思い、一度自分の身の回りを改めて見直そうと感じました。